



ALSOプロバイダーコース

~大阪急性期・総合医療センター~



Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利は**American Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会)**によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、63カ国、16万人以上がALSOコースを完了した。

プロバイダーコースは二日間で行われる。コースの内容は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。ALSOは分娩室における産科の救急的対処や医療安全を強調している。2012年から**teamSTEPPS**がコースに導入され、産科診療医療をチームトレーニングを通じて学ぶことができるコースである。更には既に欧米で広く行われている**患者安全バンドル**が2024年からコース内に組み込まれた。座学、グループディスカッションによる症例検討、実技（補助経膈分娩、肩甲難産、骨盤位分娩、分娩時異常出血）を**世界標準の医療安全を通じて学ぶ**ことができる。個人の記憶や技量に頼る診療ではなく、チームワークで母児の安全を守るコース、それがチームALSOである。

プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合受講者はAAFPの認定する3年間有効の認証を受けられる。また、プロバイダーコースの講師になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国38の都道府県でコースが開催され、13,563名（2026年04月01日時点）がコースを修了した。参加者は**産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医、そして医学生**などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけではなくチーム医療として対応することが予後の改善をもたらすことは周知の事実である。日本全国のすべての地域で産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちが教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSO である。

ALSO-Japan事業執行部

第1回大阪急性期・総合医療センターALSO プロバイダーコース 受講申し込み

主 催:大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
共 催:NPO法人 周生期医療支援機構(OPPIC)
場 所:大阪急性期・総合医療センター 3F講堂
〒558-8558 大阪府大阪市住吉区万代東3丁目1-56
<https://www.gh.opho.jp/access.html/>
日 程:2027年01月30日(土)、31(日) ※2日間コースです
定 員:24名 (近畿地方の方を優先いたします) ※先着順ではありません
受講料:40,000円 ※支払方法は受講可否とあわせて通知します。
※振り込まれた受講料は、コース開催中止時を除き、返金できません。

感染拡大状況により開催が中止または延期となることがあります。

開催時の当院のルールに従った感染対策下での開催となりますので、ご協力ください。

●申込方法

受講予定のコースの下記URL(Google form)またはQRコードよりお申込みください。

受講申込: <https://forms.gle/NMjib1eSjDNchcXc8>



記入事項不備の場合は申込みを受理できません。お申込み後に自動返信メールを送信致します。自動返信メールが届かない場合は、申込みが完了していない可能性がありますので、再度入力して頂くか、下記までお問い合わせください。申し込み内容を修正したいときは、再度送信してください。複数の送信がある場合は、最後の送信内容で対応します。

●受講希望申込期間:2026年09月09日(水)00:00~2026年09月30日(水)23:59まで

10月1日~10月10日の間に受講可否をご連絡いたします。期日を過ぎても受講可否のメールが来ない場合は、下記までメールでお問合せください。

【問い合わせ先】

大阪急性期・総合医療センター 原田由貴

E-mail: spwrkw4886@yahoo.co.jp

第1回大阪急性期・総合医療センターALSOプロバイダーコース スケジュール ver.1

受講者用

※若干の変更の可能性があります

2027年01月30日（土） DAY1

11：40-11：55 受講者受付

12：00-12：10（10分） オープニング

12：10-12：50（40分） 講義 L: Safety in Maternity Care 妊婦管理における安全性

12：50-13：00（10分） 休憩

13：00-14：20（80分） 症例検討（グループディスカッション） E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例

14：20-14：30（10分） 休憩

14：30-14：45（15分） バンドルレクチャー

14：45-15：00（15分） バンドルワーク 妊娠後期の性器出血

15：00-15：10（10分） 休憩

15：10-16：10（60分） 実技 H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膣分娩

16：10-16：15（5分） 休憩

16：15-17：20（65分） 実技 I: Shoulder Dystocia 肩甲難産（実技＋バンドルワーク）

17：20-17：25（5分） 休憩

17：25-17：45（20分） G: Malpresentations プレゼンテーション異常・ポジション異常（実技＋バンドルワーク）

17：45-18：00（20分） 初日クロージング

2027年01月31日（日） DAY2

08：00-08：30 復習・質問コーナー（自由参加）

08：30-08：50（20分） 2日目オープニング

08：50-10：20（90分） 症例検討（グループディスカッション） B: Hypertensive Disorders 妊娠高血圧症候群

10：20-10：30（10分） 休憩

10：30-10：55（25分） バンドルワーク 羊水塞栓症

10：55-11：15（20分） 講義 K: Maternal Resuscitation 妊婦蘇生 第1印象とプライマリーサーベイ

11：15-11：55（40分） ランチ

11：55-13：15（80分） 実技 J: Post Partum Hemorrhage 分娩後異常出血

13：15-13：30（15分） 休憩 チームトライアルブリーフィング

13：30-15：50（140分） Written examination & Megadelivery 筆記試験と実技試験

15：50-16：00（10分） 写真撮影

16：00-16：20（20分） クロージング closing remarks 終了後解散

事前学習として下記の e-learning があります。

レクチャー(各約 30 分) 妊娠初期の合併症/妊娠高血圧症候群/妊娠後期の性器出血/
早産と前期破水/分娩中の胎児監視/難産/プレゼンテーション異常、
ポジション異常、多胎/補助経膈分娩/肩甲難産/分娩異常出血/
母体の心肺蘇生および外傷/妊娠管理の安全性/バースクライシス
妊娠における心臓合併症/妊娠関連敗血症/